

「否定的な自己像」を持っていることが分かった。

### 3 「友人の長所に気づこう」(LHRその1)

生徒に自分自身を見つめさせ、自分の「長所」に気づかせるための方法として、まず、学級の友人の「長所」に気づかせることを試みた。下記のような調査用紙（「学級の友人の長所を見つける調査」）を作成し、生徒に日常生活を振り返らせながら、友人の「長所」をチェックさせた。

#### 学級の友人の「長所」を見つける調査

この学級の人たちの一人ひとりを見つめてみると、それぞれに素晴らしいところがあります。「〇〇さんは明るい。」とか「〇〇君は落ち着きがある。」など、お互いに知っていることと思います。先生にも学級の皆さんの長所を教えてください。各項目ごとに、よく当てはまるときは◎を、まあまあ当てはまるときは○を、付けてください。

番号	氏名	項目	明るい性格である	落ち着きがある	協力的である	つきあいがよい	親切である	根気強い	礼儀正しい	決断力がある	運動能力が高い	健康的である	責任感がある
1	〈例〉					◎(よく当てはまる)				○(まあまあ当てはまる)			
2													

記入は、友人間の比較ではなく、友人に対する直接的な印象でチェックさせることとした。

その結果、生徒が一人ひとりの友人をよく見つめ、その「長所」に気づくことができた。さらに、この作業は一人ひとりの生徒が学級の友人の「長所」に気づくとともに、自分の「長所」にも気づく契機になったと考えられる。

### 4 面接相談

「友人の長所を見つける調査」を実施後、学級全員の個票を作成した。

次に、この個票や日常の観察記録、教科担任からの情報等を資料として、1日に3人から5人の割合で、学級の生徒全員との面接相談を行った。

面接のねらいは、学級の友人が一人ひとりの生徒の「長所」をどのようにとらえているかを確認させ、自分の「長所」に気づかせ、「肯定的な自己像」を確立させることである。

次のやりとりは、自分の「長所の発見」で短所ばかりを書いた生徒との面接相談の様子である。

・・・(前半略)・・・

T これ（「長所を見つける調査」の結果）を見てどんな感じ？

S ……これほんとうですか？

T どの項目の得点が高いか確認してごらん。どう？

S 「落ち着きがある」と「根気強い」の二つです。

T 感想はどう？

S ……あたりまえのことだし、長所にはならないと思います。

T でも、学級の人たちが〇〇君の長所として認めているんだから、立派なことだと思うよ。

S そうでしょうか。長所といえるんでしょうか。

T 先生も〇〇君はとても根気強い、しっかりした生徒だと思っているよ。